

2023 Vol. 57
新春号
2023年1月17日発行

県立宮古病院 広報誌

はとぼっぽ



病棟内の新年を飾る掲示物

病院管理者より：新年のあいさつ

令和4年度認定看護師の紹介

- がん性疼痛看護認定看護師
- 皮膚、排泄ケア認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 救急看護認定看護師
- 集中ケア認定看護師



 沖縄県立宮古病院
Okinawa Miyako Hospital



令和5年 新年のごあいさつ



「新年のごあいさつ」

宮古病院職員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナ第5波から始まり、オミクロン株への変異が急速な感染拡大を招き、第6波と第7波は、それぞれ5月と7、8月に2度に渡る長期診療制限を余儀なくされました。その厳しい状況を、職員の皆様と地域の関係医療機関との連携協働で乗り切る事が出来、感謝しています。



宮古病院管理職として、本永前院長よりバトンを引継ぎ、米田副院長、川満医療部長、さらに新崎看護副院長と共に、現場の声に耳を傾け、宮古病院が宮古地域の中核病院であることを再認識し、様々なことに取り組んだ1年でした。

その一つが令和4年3月に承認を受けた地域医療支援病院であり、地元の先生方と当院が連携し、診療情報提供書による情報共有、また、宮古病院のCT、MRI、心エコーなど画像機器の共同利用を推進することは、地域医療の質向上に寄与するものと考えています。様々な画像診断が加わることで、がんの早期診断、心不全の病態診断、感染症の早期発見など、市民の健康に大いに役立つものと思えます。

また、令和4年4月には5西病棟に25床の地域包括ケア病床を開始し、施設基準に合致すれば新年早々に認可届け出を予定しています。宮古病院へ入院された患者様には、従来の入院日数では十分でなかったものが、最高60日まで入院可能となり、身体機能低下を積極的なリハビリで回復させ、また退院後の住まい環境の整備等も行っていただき、今後の生活の質の向上を図っていきます。

さて、今年は卯年となりますが、皆様にとってどんな年を期待していますか。各人が新年の誓いを立てたのではないのでしょうか。病院長としては、宮古病院の理念である「地域と心かよわせ共に歩む」病院をより身近なものにしてもらい、地元市民の笑顔を大事にしていきたいと思えます。そのためには組織として、かつ各人一人一人の取組みが重要です。

最後に、本年も感染対策に留意し、患者様へもスタッフ同士も相互のリスpekトを忘れず、より良い医療が提供出来るように、職員一同励みたいと思えます。どうぞ宜しくお願いします。

宮古病院長 岸本信三

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

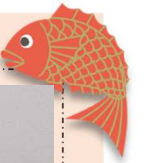
旧年は3年にわたる新型コロナの流行と、2月のロシアによるウクライナ侵攻と暗い1年でした。ほとんどの職員に置かれましては、職場と自宅の往復という単純でストレスの多い生活だったと思えます。新型コロナ感染予防の観点から歓迎会、忘年会、送別会など病院の行事が中止されました。

宮古病院の良さである他部門との交流もありませんでした。新型コロナ感染症もウクライナ戦争も個人の力ではどうすることもできません。しかしながら、ストレスと人間関係の希薄な職場であればこそ仲間を思いやり、働きがいのある楽しい職場にするのは可能かと存じます。

どんなに長い夜でも明るい朝は必ずきます。それを信じて皆で協力してこの1年を乗り越えましょう。



副院長 米田恵寿



医療部長
川満博昭



看護副院長
新崎博美

謹んで初春のお慶びを
申し上げます。
今後とも変わらぬ温かい
ご支援を賜りますよう、
何卒よろしくお願ひ
申し上げます。



副看護部長
上江洲美智子



副看護部長
兼久正二

新年明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍で、看護体制も日々柔軟な対応が求められる中、
全職員の協力態勢で危機的状況を乗り越えることができました。
「苦しい時こそチャンスがある」プロゴルファー松山英樹の言葉です。
苦しい時こそ宮古病院の強みである「助け合いの文化」を活かせるチャンスと捉え、
笑顔と「ありがとう」を大切にする看護部を目指します。
今年は卵のように明るく跳び跳ねて様々な問題に負けない様に頑張っていこうと思います。
今年1年看護部をよろしくお願ひ致します。

看護部長 大嶺リツ子



新年あけましておめでとうございます。
昨年は4月に3西師長に就任し、不慣れながら業務を遂行できましたのは
皆様のご指導ご協力のお陰であり、病棟スタッフの協力があったからと
感謝いたしております。

40億年前に現れたウイルスとの長い戦いの一時期に立ち翻弄される毎日ですが、
これも病棟の団結力の強化と全てにしなやかな対応ができるスタッフの育成に
つながると捉え、今年も皆で頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。

3西病棟師長 小川 隆子



一般外科、脳外科、泌尿器科の外科系混合病棟です。

予定手術や緊急手術を必要とする患者さんの入院を24時間体制で受け入れて
います。また、化学療法、緩和療法目的で入院される方もいます。安心して
入院生活が送れるよう、多職種と連携し、患者さんに寄り添える看護を
目指しています。本年もよろしくお願ひいたします。

4西師長 宮城亮子



「新年あけましておめでとうございます」

コロナ禍で感染対策を行いながら内科全般、主にCAG、PCI、ERCP、EUS、口腔外科の術前後
の看護と多忙な令和4年でありましたが、スタッフ一同が離島の中核病院として地域の皆様
のお役に立っている実感を持ちながら業務を行ってまいりました。今年も更に感染対策に留意し、
スタッフ一同一致団結して笑顔で頑張っていきたいと思ひます。本年が皆様にとって明るい年
なることを願っております。

4東病棟師長 本村郁美



新年明けましておめでとうございます。
旧年は5東病棟へのご理解、ご協力
ありがとうございました。
季節を味わえるように環境整備を行い、
療養生活が快適になるよう職員一同取り組んでいます。
本年も宜しくお願ひ致します。

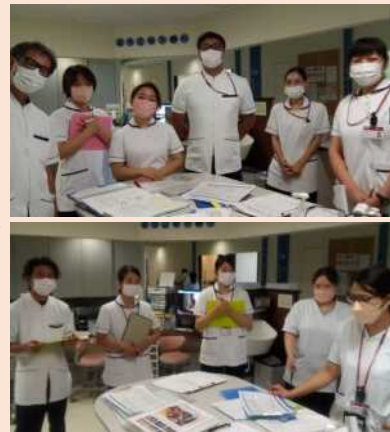
5東病棟師長 宮國ルリ子



明けましておめでとうございます。

5 西病棟は、感染症病棟と地域包括ケア病床の 2 つの機能があります。

感染症病棟は特 2 類に関する感染症の方々が感染期間入院されます。宮古島市で 2020 年 7 月 29 日（国内初 1 月 15 日）初めての新型コロナウイルス感染症から現在も新型コロナウイルス感染症に感染した患者様の受け入れを行っています。患者様は新生児から成人までと幅広く、80 歳代以上のご高齢の患者様が 7 割をしめ、100 歳代の患者様の入院もみられます。ケアの際は、感染症対策（PPE）を行いながら、隔離療養を余儀なくされている患者様と御家族との精神不安を少しでも軽減するために動画での面会を取り入れています。



一方、地域包括ケア病床においては、昨年から他病院での取り組みなどを参考に、定期的に関係者と会議を重ね、地域包括ケア病床の開設にむけて準備を進めています。地域包括ケア病床の主な機能として、急性期治療を終えた方の受け入れ（ポストアキュート）、自宅や介護施設等からの緊急入院受け入れ（サブアキュート）、在宅への生活復帰支援（在宅復帰支援機能）の 3 つの役割があります。患者様、御家族様の望む人生を地域の医療、介護関係者と連携を図り、安全に安心した在宅療養が送れるよう急性期病棟と地域との橋渡しができるよう取り組んでいます。

5 西病棟師長 下地和枝

あけましておめでとうございます。

旧年中は、6 西病棟へのご理解とご協力ありがとうございました。

今年はいざなぎ年です。いろんな面で飛躍し活気ある 6 西病棟にしていきたいと思えます。

スタッフ一同看護の質の向上に努め、安全な看護を提供していきます。多職種の皆さん今年もご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

6 西病棟師長 宮國幸代



明けましておめでとうございます。

今年「卯年」。明るく跳びはねて様々な問題に負けないように、外来・救急スタッフ一同頑張りたいと思います。

今年も地域の皆様に親しみをもち、満足していただけるよう看護サービスの向上に日々努めて参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

外来・救急師長 砂川礼子



日頃の ICU/血液浄化室へのご理解・ご協力ありがとうございます。

ICU は宮古圏域で唯一の集中治療室で病床数 4 床を有し、宮古圏域の重症患者を受け入れています。在籍している集中ケア認定看護師を中心に、よりよい医療・看護の提供を目指して、集中治療に関わる知識・技術の向上に務めています。

血液浄化室では、臨床工学技士と連携し、外来透析のみならず急性期患者で入院される方の受け入れや血液透析導入などを行っています。血流障害等による足病変の早期発見に努めるとともに、安全に配慮した血液透析の実施を目指しています。

今後も当部署へのご理解とご協力を宜しく願います。

ICU・血液浄化室師長 下地紀子



新年あけましておめでとうございます。

昨年は手術室看護体制を ON コール対応から夜間導入のため看護師を 4 人増員されました。夜間も 10 月から準夜間を導入し、何度も話し合いを行い 12:30~21:00 と 13:30~22:00 のダブル時差勤務対応を 12 月より実施しています。今後も宮古圏域の中核病院として手術・内視鏡・アンギオ検査看護に取り組み、スタッフ一同精進していきたいと思えます。

本年度もよろしくお願いいたします。

手術室師長 長崎ゆかり





令和5年 新年のごあいさつ



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年中は地域連携室へご理解、ご協力をいただきスタッフ一同心より感謝申し上げます。
今年も円滑な院内外連携を心がけ地域医療支援病院として地域に根ざしたよりよい医療の提供に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

地域連携室室長 久貝美和子



医療安全管理室は、リスクマネージャー、感染管理認定看護師(専従)、皮膚・排泄ケア認定看護師(専従)、医療対話推進員、看護事務補助員の5名で院内の安全管理の中心的役割を担っています。
患者さんが安心して医療を受けられる環境を整え、医療事故・院内感染の予防や再発防止など、患者さんと職員の安全を守るために様々な活動を行っています。
本年もよろしくお願いいたします。

医療安全管理室師長 根間しのぶ



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、薬局業務にご協力いただき誠に有り難うございます。
当薬局は、薬剤師12名(育休中・パート含む)と助手2名で業務を行っており、県立病院の中で一番若いメンバーで構成されチームワークの良さは一番だと自負しております。

2023年も「地域と心かよわせ共に歩む」の宮古病院の理念に少しでも貢献できるよう薬局職員一同全力で業務に取り組んでいきますので宜しくお願い致します。

薬局長 渡真利国浩



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は栄養管理室の業務運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
今年卯年。うさぎはその跳び姿から「飛躍」や「向上」の象徴とされているそうです。
栄養管理室としてもさらなる知識や技術の習得に努め、患者様に安心・安全なお食事を提供することを常に目標とします。また、患者様お一人お一人の治療を栄養管理面から支えていくためより一層精進してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

栄養管理室室長 仲宗根法子



新年あけましておめでとうございます。

昨年中はリハビリテーション室、精神科作業療法室の業務運営にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。2023年は卯年。前向きに飛び跳ねることから「飛躍」や「向上」を表す年と言われているそうです。
スタッフ一同、飛び跳ねつつ前向きに頑張りたいと思いますので、今年もどうぞ宜しくお願い致します。

リハビリテーション室室長 嘉数美千代



新年あけましておめでとうございます。

昨年は我々臨床工学科において、COVID 透析対応に加え、2年ぶりのIABP 駆動に伴うヘリ搬送や5年ぶりの血漿交換、各スタッフがスキルアップに積極的に取り組むなど、忙しいながらも刺激に満ちた一年となりました。

2023年も引き続き、他部署と連携し、医療技術サービスの安定供給と医療機器の安全管理に努めてまいります。本年も宜しくお願い致します。

臨床工学科技師長 金城武



新年明けましておめでとうございます。

昨年、「品質保証施設認証制度」の基準に合格し認証を受けることが出来ました。

これまで以上に良質な臨床検査データの提供に努めます。

また一昨年から病理診断料として標榜された病理診断（遠隔診断を含む）も

順調に診断件数を伸ばすことが出来ています。「地域と心かよわせ共に歩む」の理念の元、

昨年4月から「地域医療支援病院」として歩み始めた病院に貢献出来るよう、

職員・地域との「和」と「絆」を大切にしていきたいと思えます。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

検査科技師長 池間龍也



2023年！！明けましておめでとうございます。

令和3年度にCT装置、MRI装置、乳房撮影装置の更新が続き、皆様には多大なる御迷惑を

おかけしました。ご理解とご協力のお陰で、昨年度は最新の検査と画像の提供と放射線技術科

スタッフの試行錯誤による被ばく線量の低減を患者様に提供できたことなど、皆様に感謝

申し上げます。

今年度は放射線技術科一同、コミュニケーション力を発揮して「チーム医療」に貢献します。

昨年同様皆様のご協力をよろしくお願い致します。

放射線技術科技師長 照木利恵子



明けましておめでとうございます。

昨年は、さまざまな事務業務に御理解、御協力をいただきありがとうございました。

数年前から続く新型コロナウイルス感染症。国はWithコロナに舵を切りました。

観光事業も再開しています。まだまだ予断を許さない状況ではありますが、暖かい春の風が

すぐそこに来ているように感じます。

今年度は卯年、うさぎのように跳ねていけるよう、事務部一同努めていきます。

本年もどうぞ、よろしくお願い致します。

事務部長 浜口絹代



新年明けましておめでとうございます。

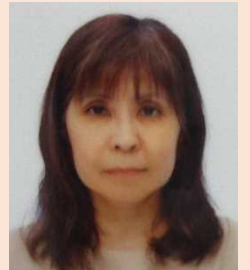
令和4年4月より医事課長として赴任して参りました照屋と申します。

今年度は地域医療支援病院として、地域の関係機関の皆様との連携・協力体制の構築に、

微力ながらも貢献できる事務職員を目指して頑張りたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

医事課長 照屋美雪



明けましておめでとうございます。

令和4年度より、総務課長を担当しております。離島勤務は初めてですが、お役にたてるよう頑張りたいと考えております。

令和2年より続いている新型コロナウイルス感染症は、昨年度も猛威を振るい、医療逼迫な状況により、患者様や関係者の方々へご負担と変えているところです。

今年こそは新型コロナウイルスが収束し、病院機能が平常になることを願いたいと考えております。

総務課長 西平点



本年が皆様にとって健康で、
充実した一年になりますように



県立宮古病院 認定看護師紹介



がん性疼痛看護認定看護師



氏名：朝川恵利（アサカワ エリ）

氏名：深澤裕美子（フカザワ ユミコ）

私たちががん性疼痛看護認定看護師は、緩和ケア専従として活動している朝川と化学療法室で兼任している深澤で、多職種で連携を図りながら診断・治療期から終末期まで継続した支援を行っています。

がんの痛みは、身体的なものだけでなく、精神的、社会的、スピリチュアルなど様々な理由で痛みが出現します。患者さんがその人らしく生活を送ることを目標とし、痛みをはじめとする苦痛症状が少しでも緩和できるようにしたいと考えています。がんに関すること、困っていることがあれば一緒に考えていきましょう。

お気軽にお声かけください。

皮膚・排泄ケア認定看護師



氏名：長間優美（ナガマ マサミ）

皮膚・排泄ケア認定看護師は、Wound（創傷）・Ostomy（ストーマ）・Contenance（失禁）→WOCNと呼ばれています。

私は専従として活動しており、褥瘡患者さんや外来のストーマ患者さんを担当しています。退院後も在宅・訪問看護で、継続できるよう処置手順作成や外来での、フォローを継続し対応しています。入院中の褥瘡ハイリスクの患者さんの予防的ケアで、安全・安心して入院生活を送れるよう援助しています。

★褥瘡ケア、排泄管理・ストーマ管理で相談あれば、お気軽にお声かけ下さい。

皮膚・排泄ケア認定看護師



氏名：狩俣登美（カリマタ トミ）

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、Wound(創傷)・Ostomy（ストーマ）・Contenance（失禁）関連を中心に、スキンケアに関して実践・相談・指導を行う看護師です。

一般の創傷ケアに加えて、褥瘡予防ケア、糖尿病性足病変の予防ケア、スキン-ケアと呼ばれる高齢者の四肢に発生する皮膚剥離の予防ケアなどを得意としています。また、ストーマや胃瘻をはじめとした瘻孔ケアに関すること、失禁に関する相談も行います。宮古病院内では、外科・脳外科・泌尿器科混合の4階西病棟に所属しており、院内の排尿ケアチームに所属し活動をしています。また、外来で糖尿病のフットケア外来での指導を担当しています。

※2022年度11月現在の情報です。相談や研修依頼などは、地域連携室（久貝）までお問い合わせください。

県立宮古病院 認定看護師紹介

感染管理認定看護師

氏名：福岡夕紀（フクオカ ユキ）

氏名：玉寄智里（タマヨセ チサト）



私たちは、病院内で患者さんと家族、すべての職員を感染から守るための活動を行っています。また、宮古島内の福祉施設などで感染対策の指導を行っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの活動の場は、地域とのつながりを強く感じました。

また、専門職が互いを尊重して活動することの大切さを感じております。今後も【地域と心かよわせ共に

あゆむ】ことを意識し、こころざしは高く、腰は低く日々みなでおこなう感染対策の活動をしていきます。お声がけがあれば、時間を作ってお伺いしますので気軽にお声がけください。

感染対策はみんなで行うことが重要です。

職員、利用者と一緒に継続して行いましょう。



救急看護認定看護師

氏名：島乃 慎（シマノ シン）

私は今年度から宮古病院に配属となりました。

院内では主に急変時対応について指導を行っています。地域の皆様に対しても、急変時の初期対応や家族の精神的な援助に関して相談に乗っていただければと思います。どうぞ気軽にお問い合わせください。

【宮古病院の理念】

地域と心かよわせ共に歩む

【基本方針】

私たちは、地域の笑顔（SMILE+PC）を大事にします

Service: 医療サービス

私たちは、地域住民の声に耳を傾け、誠意ある対応に努めます。

Medical team: チーム医療

私たちは、互いを尊重し、安全で適切な医療を提供します。

私たちは、医療人として知識、技術の研鑽に努めます。

Informed consent: インフォームド・コンセント

私たちは、患者の権利を尊重し、丁寧な説明のもと、納得できる医療を提供します。

Local-area collaboration: 地域連携

私たちは、地域の関係機関と連携し、離島の中核病院としての役割を果たします。

Environmental sanitation: 環境衛生

私たちは、患者が快適な医療を受けられる環境作りに努めます。

私たちは、職員が生き生きと働ける職場を作ります。

Personal Information Protection:

個人情報保護

私たちは、個人を尊重し、個人情報保護と守秘義務文化の醸成に努めます。

Culture of Cooperation: 助け合いの文化

私たちは、組織内のあらゆる対人関係で助け合いの文化の醸成に努めます。

集中ケア認定看護師

氏名：洲鎌早苗（スガマ サナエ）



集中ケア認定看護師の役割とは、生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測し重篤化を回避するための援助、廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施です。私は現在、集中治療室（ICU）に所属しています。患者さんを一人の生活者として捉え、小さな変化に気付き対応していくことを大事にしています。院内では、RRT（院内急変対策チーム）やRST（呼吸ケアチーム）活動やフィジカルアセスメントの指導などを行っています。状態変化前の予兆や対応、アセスメントの方法（視点）などのご相談は、お気軽にお声かけください。

沖縄県立宮古病院

〒906-0013

沖縄県宮古島市平良下里 427-1

TEL：0980-72-3151

FAX：0980-74-3105